

じんぶつと自分をくらべて読み、かんそうをもとう

中心学習材 「わたしはおねえさん」(光村図書2年下)

補助学習材 「すみれちゃん」「すみれちゃんは一年生」「すみれちゃんのあついなつ」  
「すみれちゃんのすてきなプレゼント」(石井睦美/偕成社) 他

## &lt;付けたい力&gt;

- ◎主人公の行動や会話と自分の経験を結び付けて、自分の考えをまとめる力(読才)
- あらすじや自分の考えをまとめるために、文章の中の大事な言葉や文を書き抜く力(読工)

## &lt;単元を貫く言語活動&gt;

主人公と自分の経験を結び付けて読み、感想カードを書いて発表する。

## &lt;主体的な思考・判断・表現を促す手立て&gt;

- ・第1次で、本の紹介や教師作成の感想カードを基に、読書活動への興味をもたせたり、自分と結び付けて読んで自分の考えをまとめることの楽しさやその読みの方法を考えさせたりすることを通して、学習への目的意識や課題意識をもてるようにする。
- ・第2次で、感想カードの要素と読みの観点を関連させ、自分の考えを形成する場を段階的に位置付けることで、自分の経験と結び付けて読んで自分の考えをまとめるという読みの方法や価値の実感化を図る。

## 1 子どもと単元について

## (1) 子どもの実態

前単元では、主人公の行動や会話から場面の様子を想像し、主人公に向けて自分の思い(主人公に言ってあげたいこと)を手紙に書く学習を行った。この学習を通して、想像したことを基に、主人公に言ってあげたいことという視点から自分の思いをもつことができるようになってきている。この学習を受け、本単元では、主人公と自分の経験とを結び付けて読むという新たな読み方に出合わせたい。主人公と自分とを結び付けて読むことにより、主人公の言動への理解が深まったり、自分の考えがより明らかになったりすること、その結果として、読書がより自分に引き寄せられるものになるという学習経験を通して、主人公と自分を結び付けて読むという読みの力を付けていきたい。

## (2) 学習材について

本中心学習材は、主人公「すみれちゃん」が、幼い妹とのやりとりの中で、お姉さんとしての心の葛藤と成長を描いた物語である。主人公は二年生であり、子どもたちと同年代である。また、主人公の行動や主人公を取り巻く事件は、弟・妹がいる子はもちろん、学校のお兄さんお姉さんとして一年生との交流活動をしている子どもたちにとって、実際に似たような経験をしたり、似たような気持ちになったりしていることだと思われる。そのため、親近感をもちながら読むことができるとともに、自分の経験を想起し、主人公に共感しながら、主人公に対する思いや考えを巡らせることができると考える。

以上のことから、本単元で取り上げる学習材は、人物の行動や会話と自分の経験を結び付けて読み、自分の考えをまとめる力をつけることが期待できるといえる。

## (3) 言語活動の特徴と系統

本単元では、「主人公と自分の経験を結び付けて読み、感想カードを書いて発表する」ことを、単元を貫く言語活動として設定する。以下の特徴を通して、付けたい力の確実な育成を図る。

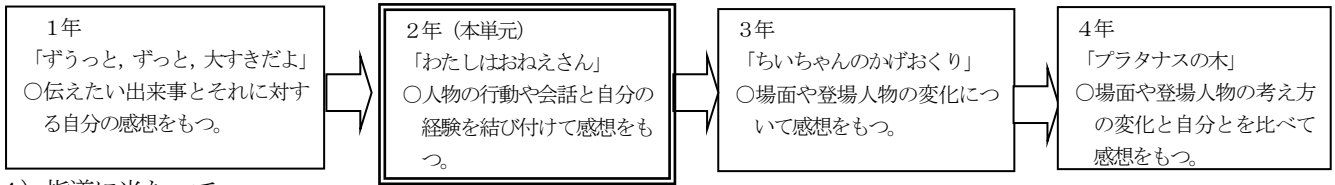
## 《感想カードの構成要素》

- ・お話の題名(作・絵)
- ・主人公
- ・主人公と自分が一番似ていると思った場面や叙述
- ・その理由→自分の経験と結び付けて(類似の出来事、類似の気持ち)
- ・主人公に対する考え

## 《読みの観点》

- ◎登場人物と自分を結び付けて読むこと
  - ・登場人物の行動、会話
  - ・自分の経験の想起(類似の出来事、類似の気持ち)
- 大事な文や言葉を書き抜くこと
  - ・あらすじをまとめるために
  - ・主人公の行動や会話を捉えるために
  - ・自分の考えを伝えるために

「読んで感想をもつ」という言語活動の系統は、以下のとおりである。



(4) 指導に当たって

指導にあたっては、次の三つを大切にします。

一つ目は、自分と結び付けて読んで自分の考えをまとめる学習への興味・関心を高めたり、目的意識や課題意識をもたせたりすることである。そのために、中心学習材の特徴を基に、読書テーマを「同年代の主人公が出てくる本」とし、主人公への親しみをもたせたり、共感を得たりしやすい読書環境を整えたりする。また、自分と結び付けた考えが書いているものと書いていないものの感想カードを比較し、自分と結び付けて読んで自分の考えをまとめることで、主人公への理解が深まったり、読むことの楽しさが増したりすることの感得や、そのための読みの方法を獲得することへの課題意識につなげる。さらに、出来上がったカードは、友達や自分を今まで以上に知ることにもつながること、3学期に国語や生活科で2年生の自分の成長をまとめる学習へもつながることへも意識を向けさせていきたい。

二つ目は、主体的な思考・判断・表現を促しながら、自分と結び付けて読んで自分の考えをまとめる力をつけることである。そのために、感想カードの要素と学習活動、読みの力を効果的に結び付け、自分の考えを形成する場を段階的に位置付けていく。特に、「主人公と自分と結び付けて考えをもつ」ことは、本単元で初めての学習経験となることから、自分の考えのまとめとして感想カードを書く前段階に、友達との交流を位置付ける。このような場を保証することで、自分では見出すことができなかつたりあいまいだつたりしている視点や考えを見直し、自分の考えをはっきりさせていきたい。また、出来上がった感想カードは、初発の感想と比較することにより、感想が深まったり広がったりしたことを実感させたい。

考えを形成する場	感想カードの要素	主体的な思考・判断・表現を促す学習活動	付けたい力とのつながり
	題名・作者 主人公・あらすじ	・場面ごとの主な出来事や主人公の言動を表す文や言葉を書き抜いてつなげる。	・あらすじという用語を知り、あらすじを短くまとめる。
・読んで考える。 ・根拠を明らかにして考えを書く。 ・考えを交流する。 ・考えをまとめる。	一番似ているところとその理由(類似の出来事、類似の気持ち)、主人公に対する考えを書く。	・出来事や主人公の言動を追いながら読み、主人公と自分が似ている場面や叙述を見付ける。 ・似ている場面や叙述と類似の出来事や類似の気持ちを結び付ける。 ・友達と交流する中で類似経験の想起を広げ、一番似ているところを選択する。 ・一番似ている自分の経験を通して、主人公に対する考えを書く。	・場面における主人公の行動や会話を読み、その理由を考える。 ・主人公と自分が似ているところを書き抜き、類似の出来事や類似の気持ちを想起する。 ・交流を通して、経験の想起を広げることで、更に主人公への理解を深める。 ・一番似ているところに対する類似経験を書くことを通して、主人公への理解を深め、主人公に対する自分の考えがより明らかになる。

三つ目は、先行読書、並行読書、発展読書を意図的・計画的に位置付けることである。先行読書や並行読書は、中心学習材の主人公であるすみれちゃんに親しみをもたせたり自分の経験を想起させたりする動機付けとして扱う。2次の学習後には、2次の学習の活用として、同年代の主人公をテーマとした発展読書を、朝読書や家庭読書に位置付け、個々の読書時間を確保する。さらに、単元の学習後には、中心学習材の主人公であるすみれちゃんが三年生になっている「すみれちゃんのすてきなプレゼント」を扱い、自分の未来の姿への予測や期待へとつなげ、新たな読書の楽しさへの展望としたい。

これらを通して、主人公と自分の経験を結び付けて読み、自分の考えをまとめる力を付けていきたい。

2 単元の指導目標

- 主人公と自分の経験と結び付けながら、興味をもって物語を読もうとする。【関心・意欲・態度】
- ◎主人公の行動や会話と自分の経験とを結び付けて読み、主人公に対する自分の考えをもつことができる。【読むことオ】
- 感想カードをまとめるために、大事な言葉や文を書き抜くことができる。【読むことエ】
- 主語と述語の関係に注意しながら、文や文章を読むことができる。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(ウ)】

3 単元の評価規準

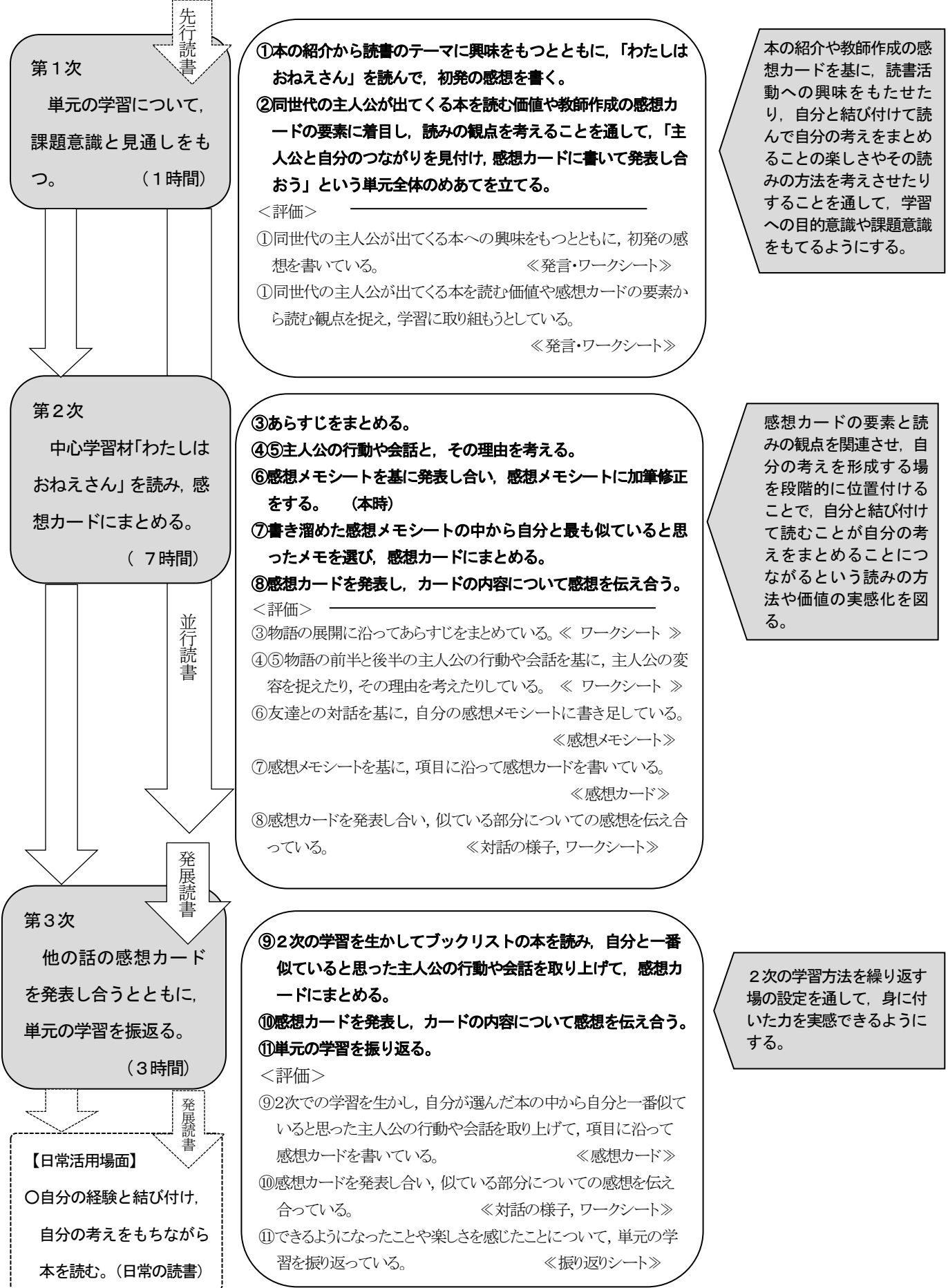
国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○同年代の人物が描かれた物語を、主人公の言動と自分の経験と結び付けながら、興味をもって読もうとしている。	◎主人公の行動や会話を基に、自分の経験を想起(類似場面、そのときの言動、気持ち)し、主人公に対する自分の考えをもちながら読んでいる。 ○「あらすじをまとめる」「登場人物の行動や会話をとらえる」「自分の感想を伝える」ために必要となる大事な言葉や文を書き抜いている。	○主語と述語の関係に注意しながら、「誰が何をした(何と言った)」を正しく捉えながら読んでいる。

4 学習指導計画（全 11 時間）

【主な段階】

【主な学習活動】

【主な手立て】



5 本時の指導 (6/11時)

(1) ねらい

類似の出来事や類似の気持ち、主人公に対する自分の考えを伝え合うことを通して、感想メモシートに加筆修正をすることができる。

(2) 展開

学習活動	思考を促す発問や指示(◎)と反応例(・), 学習内容	指導の手立て(○)と評価
<p>1 前時の学習をふり返る。</p> <p>2 学習課題を確認する。</p>	<p>じぶんとにている「つながりどっきん」やすみれちゃんをあらわす「びったんことば」を見なおそう。</p>	<p>○本時の学習課題に結び付く振り返りの記述を紹介することで、本時の学習課題へと意識をつなげる。</p> <p>○友達と交流をすることで、自分では見出せなかったりあいまいだったことや思いつかなかった言葉に出合うことができることを伝え、課題への目的意識や学習への意欲を喚起する。</p>
<p>3 全体で、交流のやり方やメモカードの書き足しなどの方法を確認する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>【対話の流れ】</b></p> <p>①お互いの書き抜いた叙述部分を確認する。</p> <p>②自分と似ている「つながりどっきん」を伝え合う。 ⇒終わったら、メモカードに書き足す。</p> <p>③主人公について考えた「びったんことば」を伝え合う。 ⇒終わったら、メモカードに書き足す。</p> </div> <p>◎(②において) みなさんも主人公と「つながりどっきん」な出来事、「つながりどっきん」な気持ちになったことはありませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私もすみれちゃんのように、二年生になったとき、うれしくて～しました。</li> <li>・〇〇さんの話を聞いて、私も一年生を見たときに、やさしくしてあげようと思ったことを思い出しました。</li> </ul> <p>◎(③において) 自分とすみれちゃんのつながりどっきんを見付けたことで、すみれちゃんのどんなことがよく分かりましたか。「すみれちゃんは、～だな」と考えたびったんことばを聞き、感想を伝え合いましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 150px;"> <p>すみれちゃんは、二年生になってとても張り切っていたんだなと思ったよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 150px;"> <p>張り切っているという言葉はぴったりだね。</p> </div> </div>	<p>○対話の流れと課題解決に向けての学習方法を理解させるために、二年生になってうれしいすみれちゃんの場面を取り上げ、全体(教師と児童たち)でやってみる。</p> <p>○感想カードにまとめる際、自分と最もつながりが深い部分を選択することができるよう、友達の類似経験を聞いた質問に答えたりすることで、新たな類似の出来事や気持ちを加筆修正し、主人公と自分とのつながりを深めていく。</p> <p>○主人公に対する考えを表す言葉を増やすことで、語彙を獲得したり、感想カードにまとめる際により自分の考えにふさわしい言葉を選んだりできる一助としたい。</p> <p>○共感という視点からの見直しを意図したグループを構成する。</p>
<p>4 グループで交流をし、メモカードに書き足しなどをする。</p>	<p>◎今のようなやり方で、今度は友達と一緒に交流をしてみましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>【カードを見直す観点例】</b></p> <p>・〇〇さんの話を聞いて、主人公と「つながりどっきん」と思い出した出来事や気持ち</p> <p>〈自分と年下の子との関わりの中で〉</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>【主人公に対する考えを表す言葉の例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妹思い</li> <li>・本物のお姉さん</li> <li>・我慢強い など</li> </ul> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>&lt;評価&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・類似の出来事や気持ち、主人公に対する考えを表す言葉を書き足したり、修正したりしている。 《感想メモシート》</li> </ul> </div> <p>○友達の経験から関連させての想起が難しい子には、その子の生活環境から推測される具体例をいくつか示し、思い当たる事例があるかを確認しながら書き足しの支援をする。</p>
<p>5 本時の学習を振り返る。</p> <p>6 次時の学習を確認する。</p>		<p>○振り返りの観点に沿って、印をつけたり記述をしたりすることで、自己評価につなげる。</p> <p>○次時は、感想カードにまとめることを確認する。</p>